

# 中小企業ぎふ

Vol.660

2019年5月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号  
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

～中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します～



内装施工を手掛ける(有)イークラフトのオフィス  
お客様に気に入ったものを提案できるように取り揃えた  
国内外のカーテンや壁紙のサンプルがずらりと並ぶ

## クローズアップ企業 2~3

岐阜県室内装飾事業協同組合 組合員  
「有限会社イークラフト」  
～「共に楽しい」を創造し、離職率0%を実現～

## 組合紹介 4~5

岐阜県米菓工業協同組合  
～共同購買を70年継続できた理由を振り返る～

## 組合等の活動 6~7

- ・特集「令和」にちなんだ組合&組合員の取り組み
- ・多治見陶磁器卸商業協同組合 女子部を結成
- ・飛騨のさるぼぼ製造協同組合 中日ドラゴンズのさるぼぼが大人気
- ・岐阜県金型工業組合 組合創立50周年記念式典を開催

## 中央会の活動 8~10

- ・特集「令和元年度 中央会の実施予定事業」
- ・第1回理事会を開催
- ・組合等ブランド強化支援事業取組事例の紹介

## 組合事務局キラキラ職員レター 11

- ・協同組合土岐美濃焼卸センター
- ・岐阜県石灰工業協同組合

## 組合士の問題に挑戦! 11

## 景況レポート 12~13

## 中央会職員レポート 14

## 産業雇用安定センターからのお知らせ 15

## 全国の先進組合事例 16

- ・岐阜県自動車車体整備協同組合
- ・岐阜県既製服縫製工業組合

## インフォメーション 17

- ・中央会組織改編のお知らせ
- ・新企画★読者プレゼントコーナー★

## 組合等ブランド強化支援事業の案内 18

# クローズアップ企業

岐阜県室内装飾事業協同組合 組合員

## 有限会社イークラフト

今回は、「楽しく」仕事をする事で質の高い施工と提案力を実現し、創業以来成長を続ける企業「有限会社イークラフト」を訪問し、江口社長にお話を伺ってきました。

《企業概要》 本社：岐阜市岩地1丁目5-9

代表取締役 江口 広康

主な事業：内装施工業

<http://www.e-craft2004.co.jp>



◎御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

### ◆ 厳しかった父の言葉で独立を決意



江口社長

弊社は2004年に設立しました。戸建て住宅の壁、床、カーテン、ブラインドなどの内装工事全般を請け負っています。開業する前は内装を手がける会社に20年勤めており、元々独立心があったというわけではありません。内装工事は、石膏ボードや床がむき出しであるところに実際の住まいのインテリアとなる壁紙や床を仕上げていくため、施工の前

と後で劇的な変化があります。自身が提案したインテリアをお客様が見て「わぁっ」と感動していただける瞬間に立ち会える喜びもあり、社長の右腕として夢中で働いてきました。しかし、住宅市場はバブル崩壊以降急激に縮小、苦しい経営状況が続く中で、社長との見解の相違から長年勤めた会社を退職することになりました。独立開業に踏み切るまでは随分悩みましたが、そんなときに声をかけてくれたのは父でした。日頃から厳しい父でしたが「自分でやってみる。この業界で20年頑張ってきたのだから大丈夫」と背中を押してくれたのです。家族の理解もあったおかげで、独立を決意しました。

### ◆ お客様ゼロからのスタート

私と社員1人、お客様はゼロからスタートしました。開業当初は毎日不安の連続で、眠れなくなることもありましたが、営業の成果で建売住宅の内装を手がけたことから徐々に紹介をいただけるようになり、受注を増やしていくことができました。

経営については「開けてビックリ玉手箱決算」と言っていたほど知らないことだらけでしたが、厳しいことで有名な経営塾や経済団体等で学ばせていただき、設立6年で黒字化、設立から16年間連続して成長できています。現在は社員6人となり、新築住宅を中心にリフォームなども幅広く行っています。企業の7割が赤字、右肩上がりの成長を続けている企業は5%しかないといわれていますが、こうして成長を継続できていることに改めて感謝しています。

◎御社の特徴や方針を教えてください。

### ◆ 現場の管理能力と提案力

社員は全員営業で、現場の施工は職人に依頼し進めます。住宅の建設は内装工事以外にも多数の工程がありますが、円

滑な施工のためには発注元のハウスメーカーはもちろん、前後の工程の進捗状況に合わせて職人のスケジュールを調整し、皆が気持ちよく仕事ができるような配慮が必要です。様々な要素の交通整理をして現場を仕切るのは難しいことではありませんが、逆にうまくできた場合は信頼につながります。

私たちの真のお客様は、発注元のハウスメーカーではなく、そこに住まわれるエンドユーザーです。エンドユーザーに最適なものを届けることを一番とする理念のもと、内装のプロとして、見識をもってよりよい提案することを心がけています。

お客様に気に入っていただける提案をするために、様々なメーカーのサンプルを取り揃えており、その量は県内屈指を誇ります。インテリアコーディネーターの資格や女性の観点を活かした提案も特徴の一つです。

弊社のオフィスや資材倉庫はキレイと褒めていただくのですが、社員自ら収納やシステムを考えて手作りをすることもあります。

### ◆ 「共に楽しい」を創造し、離職率は0%

社員が楽しく仕事をしていないとお客様に良い提案はできません。まずは社員が楽しく仕事ができ、その先にお客様、取引先、他企業への配慮ができ「共に」楽しいを創り出せると思いますので、社員第一主義を貫いています。

また、一人一人の能力を最大限に伸ばすことを大切に、ティーチングではなくコーチングを心がけています。実は前職では野球のスコアカードのようにデータで徹底的に管理したこともありましたが、現在は全く任せきりですが、皆伸び伸びと力を発揮してくれています。

誰でも楽しく仕事をすれば、実力の120%の力を出せるのです。そういった環境を整えることが社長の仕事だと思っています。おかげさまで設立以来、離職率は0%です。



いつも整っているオフィス

## 組合概要

### 岐阜県室内装飾事業協同組合

理事長 橋本 賢次(株式会社橋本 取締役会長)

〒500-8358 岐阜市六条南2丁目11番1号 岐阜産業会館3F

組合員数: 88人

主な事業: 室内装飾品の共同購入・共同販売、  
教育情報事業、技能検定委託事業 等



岐阜県室内装飾事業協同組合(通称:岐装協)は、内装仕上げ工事及び室内装飾用品の販売を行う事業者により、昭和45年に設立されました。

組合員は、カーテンやブラインド、カーペットや壁紙といった身近なインテリアに関する専門家として、建物の室内装飾、床、壁装、カーテンの施工等を幅広く手掛けています。

組合では主に室内装飾品の共同購入・共同販売のほか、組合員の人材育成に力を入れています。建築基準法にもとづいた防火・防災に関する講習、内装・床仕上げ工事作業の技能検定、塗装や足場組立の講習などを実施し、安心・安全で質の高い施工のための資質向上を図っています。

また、毎年ボランティア活動として福祉施設のブラインドやカーテンの取替、床やクロスの張替え、カーテンレールの修理等を無償で実施しています。平成18年に開始した当初は渉外委員会の事業として始めましたが、現在は青年部が中心となり継続しています。

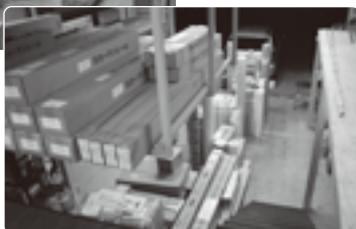
この他、カーペットやじゅうたん、壁・天井の材料について防火性があること等を表示する各種防災ラベルを組合員に支給しており、発行手数料は組合事業収入を支えています。

来年の50周年に向けて益々の発展を目指しています。



資材倉庫

社員の提案により宙づりの棚や壁紙等をカットしそのまま持ち出しができるスペースが誕生



◎経営をしていく上で大切にしていることを教えてください。

#### ◆ 座右の銘は「克己復礼」

座右の銘は「克己復礼(こつきふくれい)」です。辞書には「私情や私欲に打ち勝って、社会の規範や礼儀にかなった行いをする事」とあります。勉強会で知った言葉ですが、幼いころから自分の中にある考え方でした。商売をしていた両親は、自らが贅沢することもなく「商いは儲かるか、儲からないかではなく、お客様が喜ぶかどうか」という想いで行動する姿をずっと見てきました。こうした両親の在り方が私の礎となっています。

#### ◆ 安心して働ける環境を整えること、正しく評価すること

「安心して働くことができる環境を整えること」と「正しく評価をすること」という二つのことを大切にしています。

中小企業でも待遇や福利厚生の実施などを図り、社員やその家族の安心のためにできることはたくさんあります。社員のために気が付いたことは何でもやっていく心づもりです。

また、人は評価されることでやりがいを感じて成長できるものです。そして、正しく評価するためには、自らのブレない基準が必要です。

社長の言動・行動は、社員のモチベーションに直結します。自らを律し、礼を尽くし、お客様が喜んでいただく商いの姿をこれからも貫いていきます。

◎組合に期待することは何ですか？

#### ◆ 組合の重要性を実感、業界として“情報の受け皿”が必要

組合は会社に勤務していたころからお世話になっています。青年部には設立時から参加しており、業界における横のつながりができました。

独立後しばらくは準会員でしたが、その後正式に組合に加わり、また理事に就任してからは組合の果たす役割をより感じるようになりました。当組合は県内室内装飾の業界団体として、国の施策をはじめとする様々な情報の受け皿となっています。近年では足場に関する法改正がありましたが、改正前から組合が主体となって研修等を開催して対応することで、法施行後の混乱はありませんでした。今はインターネットで簡単に情報を得ることができますが、必要な情報を確実に周知・実行するために、組合の果たす役割は大きいと思います。

#### ◆ 職人は夢がある仕事

また、組合は業界全体をPRする役割を果たすことができます。これは一社だけではできないことです。組合では、福祉施設の内装を新しくするボランティア活動を継続しており、業界を多くの方に知っていただくきっかけとなっています。

当業界でも事業継承や人手不足が課題ですが、今後は職人という夢がある仕事の魅力を発信する機会を増やすとともに、職人を養成する場を設けていくことを期待しています。

◎最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

#### ◆ 個々の強みを会社の強みとして確立する仕組みづくり

国内市場の縮小や人手不足は避けられない状況である中、人を大切にしない企業は淘汰され、良い企業だけが残っていく時代がきていると思います。

弊社では現在社内システムのリニューアルに取り組んでおり、仕事の効率化をはかり、働き方改革をすすめているところです。弊社の社員は一人一人が優秀で、これまでの会社の成長を支えてくれました。しかし、これからさらに企業として成長をしていくためには、個々の強みを全員で共有し、会社の強みとして確立できるような仕組みづくりが必要です。

今後も周囲への感謝の気持ちを忘れず、関わる方皆さまと「共に楽しい」を創造していきます。

※組合員企業の掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

# 組合紹介

## こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



### 岐阜県米菓工業協同組合

- 理事長 栗本森義  
(株式会社松福 代表取締役)
- 組合員数 12人
- 設立年月 昭和25年6月
- 住所 岐阜市中西郷5丁目64番地
- TEL 058-322-6197

古来より日本人に親しまれてきた“おかき”や“あられ”“煎餅”といった「米菓」を製造・販売する事業者により組織化される「岐阜県米菓工業協同組合」を訪問し、栗本森義理事長に組合の歴史や活動、今後の展望などを伺いました。

#### ◆組合の歴史・活動

##### ■原料米の共同購買を継続して70年



栗本理事長

米菓はお米を原料とする加工食品です。お米は長年国の統制下にあり、絶対量が不足している時代は主食用としての配分が優先され、菓子材料のための原料米確保に苦労していました。そこで、原料米の安定供給を目指して共同購買を主な事業とする

協同組合の設立が全国的に進み、本県では昭和25年に当組合が誕生しました。今年で設立70周年を迎えます。また、こうした原料問題等を一致団結して解決するため、昭和37年には全国米菓工業組合(全米工)が設立されました。当組合も全米工と共に業界の発展向上を図っています。

当組合の主な組合事業は何とんでも米の共同購買です。米の取扱いは米不足や過剰米処理といった需給状況や情勢などに応じてその都度変更される国の政策に大きく影響を受けてきた歴史があります。組合では、どのような状況においても安定的に原料米を確保するため、全米工をはじめとする関係機関と協力して原料米作付面積の増加を要望する活動や産地との関係構築等に取り組んできました。

また、共同購買は原産地指定やトレーサビリティ問題においても安心であるというメリットがあります。近年はドライバー不足による流通面での課題から大量ロットでの発注が必要なコンテナ輸送が増えており、改めてそのメリットを発揮するようになっていきます。

##### ■マナーを守った共同購買の背景にある青年部活動

現在は自由に米を購入することができるようになったため、組合員は米をどこで仕入れるかは自由ですが、全組合員が共同購買を利用しています。それは、事業のメリットを享受するた

めだけではなく組合運営を配慮してのことでもあります。

組合員は皆同業者ですので敵・味方といった立場が生じそうなものですが、組合員間には非常に良好な関係にあり、その要因の一つが青年部活動にあります。青年部は組合設立30周年を迎えた昭和54年に発足されて以来積極的に活動しており、研修や視察を定期的に開催するほか、“あられ神輿”をつくって祭りでかついだこともあります。現在も青年部員は毎月1回顔を合わせて情報交換の場を設けており、気軽にわからないことを聞き合うこともあれば、若手メンバーのモチベーションアップにもなっています。こうした交流が礎にあるからこそ、一定のマナーを守った共同購買が継続できているのではないかと思います。

##### ■製造技術からデザイン・流通まで幅広く学ぶ

もう一つの事業の柱は教育情報事業です。研修会の開催により、業界全体で技術の向上に努めてきました。岐阜県では昭和48年に県工業技術センター内に食品部を設置され、食品製造関係の試験研究窓口が誕生しました。当時、岐阜県米菓業界は全国第2位の生産量を誇っていましたが、新潟県の米菓製造技術の研究、技術指導は大変先進的であったことから、組合の若手により構成された技術委員会のメンバーが揃い、県工業技術センターに新潟県の例に倣って岐阜県でも米菓の研修会を開催することを熱心に申し入れ、昭和51年から技術研修会がスタート、これまでに多くの受講修了者を送り出しました。

研修会のプログラムは、当初は製造技術を中心に行っていましたが徐々に幅広いテーマも盛り込まれ、米菓製造理論、農産物利用学、米菓と調味料、新商品開発、海苔、食品とデザイン、流通などにも学ぶカリキュラムとなりました。消費者の趣向が移り行く中で、基礎技術をもとに各社が伝統と斬新の組み合わせの中での商品開発に取り組み契機となりました。



技術研修の様子

##### ■事務局が組合員間だけでなく世代間をつなぐ

こうした組合活動において、組合事務局の果たす役割は重要です。主軸事業である共同購買のための情報収集はもちろん、青年部活動にも積極的に関わり、毎月の懇親会に出席して交流を促進しています。また、若い世代は父親である社長には聞きづらいことでも事務局長には気軽に相談しており、組合員間、さらには世代間を繋ぐ役割も果たしています。

## ◆組合が目指す方向性とは

ピーク時には40社以上いた組合員も、時代の変化や食の多様化などにより減少し、現在は12社となりました。かつては家内工業的に手作業で行われていた米菓の生産ですが、昭和30年以降は米菓産業にも機械化の波が押し寄せ、大量生産化へと大きな革命を遂げました。現在、米菓製造の主流は大規模な設備投資が必要であり、新規参入は難しい状況にあります。また、厳しい衛生管理やコンプライアンス遵守が求められるなか、組合は危機管理の情報提供をすることはできますが、最終的には各組合員が責任をもって対応しなければなりません。

## ■組合員一社一社が灯りとなって組合を輝かせる時代へ

栗本理事長は「現在は企業規模の大小に関わらず“自立”が求められているように感じます。かつては大きな大きな灯りが組合や各企業に光を照らしていましたが、今は一

社一社が灯りとなって組合を、又は社会を輝かせる時代にきているのではないのでしょうか。先輩方が残してくれた組合員間の絆はかけがえのない財産です。かつて組合の先輩が“組合は大きいところが横柄にならず一番小さいところに合わせてやっていくものだ。小さなところの意見も察し、取り入れることが相互扶助の根幹である”と言われていたことを今でも心にとめています。厳しい時代が続き、何かに頼ることは期待できません。組合員それぞれが力をつけていくことが必要ですが、組合が“拠りどころ”として存続できることを願っています」と話されました。



組合の歴史を振り返る  
栗本理事長と小森事務局長(右)

## 業界 知識

### 米菓の効能について ~消化吸収のよいあられ・おせんべい~

米菓の原料となる米を加熱すると、澱粉がα化(糊化)してふっくらとしたご飯になります。あられ・おせんべいは炊いたご飯を再加熱する(焼く・揚げる)のでα化を2度することになります。硬い米菓は良くかむことで、唾液の分泌も良くなるので、消化吸収を助けるため、お年寄りから赤ちゃんまで、おなかに優しいお菓子とされています。

また、あられ・おせんべいは良質なたんぱく質の他、エネルギーとなる炭水化物や脂質、カルシウム・ナトリウムなどのミネラル、ビタミンB1・B2など、健康に必要な大切な要素をたくさん含んでいます。さらに、保存もできることから、近年では災害用・緊急用の食料としても評価されています。

### あられができるまで

あられはもち米からつくられます。あられは古来、節句に切り餅を自然乾燥した生地を熱した鉄板で加熱し、膨らませて食べられていました。明治時代の後半までは、臼・杵・蒸籠(せいろ)・包丁・ホイロを用いて、家内工業的に製造されていました。現在は機械化が進み、米菓工場では、精米機・製餅機・乾燥機等の改良により、工業化が確立されるようになりました。(おせんべいも同様です)

また、あられはおせんべい比べて製造時間が長くなります。これは、もち米とうるち米の特性の違いによるものです。



工程1 蒸かし  
精米して洗い、水に浸漬(しんせき)したもち米を蒸籠(せいろ)で蒸し上げます。



工程2 搗(つき)  
蒸し上がったもち米を丸粒のまま搗(つき)きます。



工程3 型取り・冷却  
搗(つき)いた餅を容器に入れた棒状にして冷却し固めます。



工程4 七刀断  
固まった餅を裁断してあられ・おかきの生地にします。



工程5 削り・乾燥  
生地を乾燥機に入れ、余分な水分を取り除きます。



工程6 焼き上げ  
焼き窯でじっくり焼き上げます。最初はやさしい熱で余熱を与え、それから一気に膨らませ、焼き色をつけます。



工程7 出来上がり  
醤油・塩などの調味料で味付けをして、出来上がりです。



出典：全国米菓工業組合ホームページ

## 特集「令和」にちなんだ組合&組合員の取り組み 新元号「令和」に関連した商品が大好評!

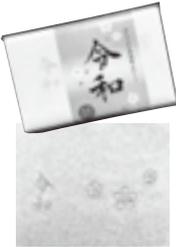
5月1日の改元に伴い「令和」にちなんだ商品を発表した県内組合及び組合員企業の取り組みを紹介します。4月1日に新元号が発表され、世間の関心が最も高まったタイミングでマスメディア等に取り上げられたことで、予想を上回る反響があったとのことです。取り組みに共通したことは、自社の特徴を活かした商品提案であることとメディア対応のようでした。

今後もオリンピックや大河ドラマ(麒麟がくる)など様々なタイミングがあるかと思いますが、組合等の活動の参考にご覧ください!

### 和紙 丸重製紙企業組合

#### 「令和の透かしが入った懐紙」

自社の得意とする機械すき和紙の技術を活かし、新元号発表後に令和と梅をデザインした透かしの製作に取り掛かった。また、取り組みの経過をインターネットで公開した。



デザインの完成とともにすぐにお客様から反響があり、懐紙として商品化された。反響は大きく、既に当初の製造分は完売し、現在は追加注文分を製造しているところだ。

### 刃物 協同組合岐阜県刃物会館

#### 貝印株式会社 「令和包丁」(関孫六 ダマスカス)

包丁「関孫六 ダマスカス」の刃に「令和」と入れた特別限定モデルを予約販売した。刃物は贈り物としては敬遠されがちであるが、同社では平素より「未来を切り開く」として贈り物にも推奨している。今回の新元号施行のタイミングでおめでたいイメージを包丁に持ってもらいたいこともあり今回の企画に至った。



新元号発表後の夕方から自社ECサイトで100丁限定での予約注文を開始したところ、翌日の午前中には完売した。追加の準備が整った2週間後に再度100丁限定で予約を開始、こちらも数日で完売となった。(現在予約受付は終了)

### お菓子 岐阜県菓子工業組合

#### 株式会社御菓子所吉野屋 「令和どら焼」(夢どら)

日頃からフードプリンターにより饅頭やどら焼きなどのお菓子里自由にデザインを施すサービスを展開している。



今回はフードプリンターを活用し、新元号発表から1時間後には「令和どら焼」を店頭に並べ、通販でも販売を開始した。新しい機械を導入していることで、スピーディーに対応ができた。当日に来店された方は、とても驚かれ、喜んでお買い上げされた。

新元号発表の直後と改元日の前後の売行きが特に好調であった。お客様の反響がよいので、しばらくは継続して販売する予定である。

### 陶磁器 下石陶磁器工業協同組合

#### 株式会社山志製陶所「令和&江戸時代からの元号湯呑」

平成になった際も改元に由来した商品を製作したがあまり反響がなかったと記憶しており、改元が発表された時点で商品は開発を迷っていた。しかし、今回は祝賀ムードであることやインターネットで情報提供できる環境が整っていること、改元発表から改元まで1か月あることなど、状況が異なったことに加えて、地元商社だけでなくメール等でも事前に何か製作をしないかとの問合せが多数あったため、製作することを決めた。

4月1日の発表後すぐに版にとりかかり、3日に窯入れ、5日には出荷することができた。デザインは2種類で、令和の文字の典拠となった万葉集の一節を入れたものと江戸時代の元和から令和まで40の元号を並べたもの。同社では日頃から歴代首相や魚へんの漢字などの湯呑をシリーズ展開していることもあり、元号一覧の方が人気であった。



### 多治見陶磁器卸商業協同組合

#### うつわや多治見「令和コーナー」

組合施設「陶都創造館」内のテナント「うつわや多治見」では、GWの期間に合わせて4月26日から県内の陶磁器卸商が取り扱う令和に関する商品を集めた特設コーナーを設置して販売し、非常に好評であった。

お皿(大・小)とマグカップ(金正陶器)、寿司湯呑(セラミックコリン)と令和のお饅頭(山浜商店)を扱った。タイムリーな展示であったことから、お客様に喜ばれた。



### お酒 岐阜県酒造協同組合連合会

#### 株式会社三輪酒造 「令和の夢」(大吟醸)

新元号を冠した限定酒「令和の夢」を販売。

“夢を添える”という想いを込めた「〇〇の夢」というラベルで平素より人気がある夢シリーズとして「令和の夢」と入れてみたところ、柔らかさの中にも芯が通って背筋がのびるような高貴さを感じ、発売を決めた。書体は大垣の書家に依頼。ラベルには製造年月日を示す平成31年4月と刻印し、新元号の「令和」と「平成」の二つの元号が入り、時代のかげ橋となるようなイメージとなった。4月27日に開催した蔵開きでも販売し、大変好評であった。



#### 天領酒造株式会社 新元号奉納記念酒「令和」(純米酒)

平素はいわゆる流行にのるようなことは行っていないが、この度の改元はおめでたいことから、新元号を華やかにお祝いするための企画を検討することとした。また、取り組むのであればどこよりも早く行うつもりで準備を進めてきた。

ラベルのデザインは「日本らしいイメージ」で事前に検討し、新元号発表後すぐに「令和」の文字を入れた最終デザインを決定した。4月2日から出荷、4月3日にはお客様のもとに届けることができた。

4月1日の発表日に新聞やテレビで大きく取り上げられたこともあり、予定を大幅に上回る注文があり、多くの方に楽しく飲んでいただけた。



#### 有限会社渡辺酒造店 「蓬莱 新元号 令和 搾り酒」

新元号となる5月1日0時をまわると同時に搾って瓶詰したお酒に1本1本シリアルナンバーを割り振って出荷した。当初は5,000本限定の予定だったが、予約が殺到したため急遽20,000本に増やしたがすぐに完売した。1月頃から準備を始め、予約は3月から開始していたが、新元号の発表があった直後から急激に

予約が増加した。4月1日の新元号発表直後に大きくマスメディアに取り上げられた影響も大きい。通常の酒蔵では年明けの寒い時期に初搾りを行うが、当蔵では温度管理等の設備を整えているため(ものづくり補助金を活用)5月でも可能。5月1日に搾った酒は1・2日で全商品出荷し、フレッシュな味を楽しんでもらうことができた。



## 女子部を発足!初めてのイベント出展で大盛況

多治見陶磁器卸商業協同組合(竹内幸太郎理事長)

多治見陶磁器卸商業(協)では、組合員の女性役員や女性従業員による「多陶商 女子部」を発足し、女子部初の取り組みとして「第72回たじみ陶器まつり」でワークショップ『はしおきビュッフェ』を開催した。

低迷が続く陶磁器業界において、陶磁器卸商社である組合員企業の女性が女性の視点で業界活性化の一端を担うことを目的として集結し、古川多治見市長からの助言もきっかけとなって女子部を発足した。部員数は現在7名で、今後増員を目指している。

部活動の第一弾は、4月13日・14日に開催された同組合主催の一大イベント「たじみ陶器まつり」において「はしおきビュッフェ」と題したワークショップを実施。猫や食べ物、家をモチーフにしたものなど様々な色や形の箸置きとお皿を組み合わせてアートプレートを作るというもので、女性や家族連れを中心に賑わい、陶器まつりを盛り上げた。

女子部を代表して(株)カマイチ商店の水野園子さんは「業界の活性化のために何ができるかわからないが、わたしたちにできることを探して取り組んでいきたい」と今後の抱負を語った。



たじみ陶器まつりで「はしおきビュッフェ」を開催

## 中日ドラゴンズルーキーのさるぼぼが大人気

飛驒のさるぼぼ製造協同組合(中澤澄夫理事長)

プロ野球・中日ドラゴンズのルーキー根尾昂選手(飛驒市出身)と垣越建伸投手(高山市出身)のユニホームを着た「さるぼぼ」がナゴヤドームと飛驒地区限定で発売された。

さるぼぼは飛驒の民芸品で、岐阜に来た思い出として持ち帰ってほしいとの思いから岐阜県内のみでの販売を推進している。今回の根尾選手と垣越投手のさるぼぼ製作はドラゴンズ側の依頼によるもので、県内限定で販売していることから当初は躊躇したが、地元出身の選手を応援するためナゴヤドームのみで販売することを依頼し、製作に至った。当初は3,000個の予定であったが、すぐに完売。急遽追加で4,300個を製作し、ドラゴンズファンに喜ばれた。また、GWに合わせて頭巾の色等が異なる飛驒地区限定バージョンも製作し、高山市の土産物店等で販売を開始した。

中澤理事長は「さるぼぼは一つ一つ手作りであるため製作は大変ではあったが、地元選手への応援の気持ちを込めた。2人の今後の活躍を期待したい」と語った。



ナゴヤドーム限定品はボールを持っている



飛驒地区限定品

## 組合創立50周年記念式典を開催

岐阜県金型工業組合(黒田隆理事長)

岐阜県金型(工組)は組合創立50周年を迎えるにあたり、5月14日に大垣フォーラムホテルで記念式典(50年を祝う会)を開催し、組合員ら約50名が参加し、今後のさらなる発展を誓った。

同組合は、日本のものづくりを支える基幹産業である金型の近代化と技術の向上を図り、業界の振興・発展に努めることを目的に昭和45年に設立。以来、教育事業や情報提供事業を中心に幅広く事業を展開してきた。

特に人材確保・育成に注力し、研修会や視察だけでなく、岐阜大学や大垣市など産学官との連携にも積極的に取り組み、県内工業高校などでの出前授業やインターンシップを実施。また、平成28年からは岐阜県教育委員会との共催により、工業高校生金型コンテストを開催している。さらに、海外との連携も進め、韓国の金型工業協同組合や韓国金型振興会等との交流や情報交換等を行っている。この他、岐阜県プラスチック工業組合との交流会開催など、地道な活動を継続してきた。

式典前には、(有)ツトム経営研究所の森下勉氏を招き「見えない資産を顕るワーク~自社の隠れた価値と成長を引き出す方法」をテーマに記念講演を開催した。

式典の開会にあたり、黒田理事長は「創立50年の節目の年に令和元年を迎え、組合の新しい歴史の始まりとして相応しい年となった。今後も“組合員のために何が出来るか”を考えながら、組合の活性化に向けて活動していきたい」とあいさつ。また組合功労者に対する表彰を執り行い、懇親会では和やかに懇親を深め、今後の発展を誓った。



記念式典で黒田理事長があいさつ

特集 令和元年度 中央会の実施予定事業

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!~中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します~

スローガン「連携の力で無限の可能性にチャレンジ!~中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します~」のもと、日頃の巡回、相談等でお聞きした組合及び中小企業者のニーズに対し、課題解決策の提案、情報提供、研修会開催などに取り組みます。

今年度は主に下記の事業を実施する予定です。(下線は新規事業)その他の事業については通常総会議案書をご覧ください。また、事業の詳細やご不明な点等はお気軽にお問い合わせください。

巡回訪問や相談等による組合ニーズ・課題の把握

組合等への巡回訪問や相談対応、組合役職員等が集う機会等を活用し、ニーズや課題の把握に務めます。

○巡回・相談指導

全職員で取り組みます!

○事務局代表者懇談会

今年は視察も予定しています。

○情報連絡員会議の開催

組合ニーズの実現化及び解決策の提案と実施

組合等が抱える課題等への対応のための事業の実施や施策等の活用を支援します。

○組合等ブランド強化支援事業

組合等の個別の課題に応じて専門家を派遣します。まずは担当指導員にご相談ください。

P10取組事例、P18事業詳細を掲載しています

○組合等支援事業

組合等の研修会等の開催を支援します。毎年申込が殺到しています。組合での研修を開催希望される場合は担当指導員にご相談ください。

○組合監事講習会

組合監事の資質向上を目的とした講習会を開催します。

監事は組合の健全性を確保し、ガバナンス向上の推進において重要な役割を担っています。適正かつ適切な組合活動のため、監事の役割について改めてご理解いただく機会となります。



(担当:細井)

○消費税軽減税率対策窓口相談等事業

消費税に関して組合の講習会・専門家派遣等も開催できます。

○外国人技能実習制度適正化事業

制度についての研修会開催等を予定しています。

○中小企業組合等課題対応支援事業(全国中央会補助事業)の活用支援

中小企業活路開拓・調査実現化事業がリニューアルされました。展示会の出展や市場調査など組合事業活動に幅広く活用いただけます。中央会で申請のお手伝いをします。

○小規模事業者組織化指導事業(全国中央会補助事業)の実施

小規模事業者を対象とした事業です。ホームページ作成(リニューアル含む)やチラシ作成等にも使えます。

○事業承継セミナーの開催

事業承継において“本当に大切なことは何か”を学びます。

「事業承継」というと“資産などを引き継ぐこと”がクローズアップされ、そのための手続きや税制等についてのセミナーが多いですが、本セミナーでは、経営者と後継者の双方が事業承継の必要性に気づくこと、そして“経営(の勘)を引き継ぐこと”の大切さに気づいていただきます。



(担当:水野)

○海外展開支援事業の実施

海外展開を目指す企業等への対策セミナーです。

海外展開を展望する中小企業の後押しをするために、事前に確認すべきポイント、リスク等について学ぶセミナーを3回実施する予定です。



(担当:井上)

○販売力強化支援事業

組合員企業等の製品(日用雑貨を予定)やサービスの販路開拓に向けた「プレゼン力強化セミナー」を開催します。

○「平成30年度補正ものづくり補助金」に係る地域事務局の運営

○「ぎふものづくり連携倶楽部(G-Club)」の運営

ものづくり補助金の実施事業者を対象に、販売促進や販路開拓等のフォローアップ支援を行います。今年度も企業交流会やビジネス展示会の開催、メッセナゴヤの出展を予定しているほか、研究会活動企業等により企業間連携の促進を図ります。

※その他、組合活性化、制度等普及に関する研修会の開催については随時ご案内します。

新たな連携の促進と取組み支援

中小企業等の多様な連携をコーディネートし、組織化や新製品開発等を支援します。

○地域資源活用研究事業

地域資源に着目した中小企業者の新たな連携と新商品、新技術開発を三年計画で支援します。(3年目)

組合等の人材確保支援

岐阜県や経営者団体等が実施する、企業説明会等の共同開催や開催情報の提供、参加への積極的支援をします。

## 組合等の人材育成支援

次代を担う組織リーダー、女性経営者、組合役職員等の育成を支援します。

### ○青年部組織化推進事業の実施

組合青年部の活性化及び組織化に向けた調査研究を行います。

組合青年部を組織し、その活動を通じ後継者育成に取り組むことは、円滑な事業承継の一助となります。青年部の在り方や役割等について改めて調査を行い、提言として取りまとめる予定です。青年部のない組合にはその必要性の理解を深め組織化を促すとともに、既存青年部の活性化を目指します！



(担当:河田)

○組合青年部の活動支援・研修会等の開催  
青年中央会の活動を支援します。

○組合女性部等の活動支援・研修会等の開催  
レディースクラブの活動を支援します。

○中小企業組合士の資格取得の勧奨  
中小企業組合士協会の活動を支援します。

○組合女性事務局懇談会の開催  
組合事務局の女性職員を対象に、今後の組合運営に活かすための懇談会を実施し、交流を深め、組合女性事務局同士のさらなるネットワークの構築と醸成を図ります。

○組合事務局スキルアップ支援事業の実施  
組合制度・会計や事業運営など、組合事務局のスキルアップを目指す講習会を開催します。

## 第1回理事会を開催

中央会は、今年度第1回の理事会を4月18日にホテルグランヴェール岐山で開催した。

開会にあたり、今井会長が「中央会は組合及び中小企業の現場に赴き、組合の声を聴き、課題克服のための様々な事業を通じて会員組合等のチャレンジを後押しする。今年度は新たに事業承継対策や後継者育成にも重点をおいた事業を予定しており、事業の活用をしてほしい」とあいさつした。次に議案審議に入り、今井会長が議長に就任し、第64回通常総会提出議案、通常総会の

日程について審議が行われ、全て原案どおり可決決定した。



## 新規加入組合 期間:2018年11月27日(前回理事会)~2019年4月18日

### 【1号会員】

陶都自動車整備協業組合(瑞浪市・15名)  
ジーエフグループ協同組合(揖斐郡大野町・13名)  
nexus協同組合(岐阜市・6名)  
ASMIRISE協同組合(可児市・7名)

絆協同組合(大垣市・7名)  
中部日本旅館協同組合(岐阜市・5名)  
岐西輸送センター協同組合(大垣市・19名)

## 中央会日誌

(3月21日~5月25日)

### 【中央会事業】

4月 5日 組合等支援事業(対象:川崎岐阜協同組合)  
12日 組合等支援事業(対象:川崎岐阜協同組合)  
15日 中央会 監事会  
16・17日 組合等支援事業(対象:岐阜県印刷工業組合)  
18日 中央会 理事会  
23日 レディースクラブ 理事会  
5月 8日 青年中央会 理事会  
14日 組合等支援事業(対象:高山米穀協業組合)

### 【出席会議等】

3月22日 岐阜県地域人材育成協議会  
岐阜県消費税率制度実施協議会  
25日 ねんりんピック岐阜2020実行委員会常任委員会  
4月 8日 岐阜県金融懇談会分科会  
5月14日 岐阜地方最低賃金審議会  
岐阜県IoTコンソーシアム理事会  
岐阜県金型工業組合 創立50周年記念式典  
17日 岐阜景気問題連絡会  
20日 「モノづくり」産業支援機関連携会議

## ◆中央会 第64回通常総会のご案内

会員の皆様には既にご案内をしておりますが、まだ出欠の返事をされていない場合はご連絡をお願い致します。

【日 時】令和元年6月14日(金) 総 会 15:30~ 懇親会 17:15~

【場 所】都ホテル岐阜長良川

## 組合等ブランド強化支援事業 取組事例の紹介

今年度も同様の事業を実施します。事業の案内についてはP18をご確認ください。

昨年度に本会「組合等ブランド強化支援事業」を実施した組合の事例を担当した職員が紹介します。本事業は、組合及び組合員企業等の課題に対し、個別に対応を検討することができます。事業の進め方については、担当職員が共に考え、提案をします。まずはお気軽にご相談ください。

### 「地域の時計小売店の特徴を活かした新サービスの構築」岐阜県時計宝飾眼鏡商業協同組合

#### 一組合の加入メリット低下が課題

当組合は近年における流通構造の変化（ディスカウントチェーンの進出、通信販売等の進展等）や消費者の時計・メガネ等に対する考え方やニーズの変化から、地域小売店の経営は厳しくなり、その影響から組合員の廃業等による退会が増え続け、組合組織の弱体化並びに組合加入メリットの低下が喫緊の課題となっていました。

このような状況の中、田坂理事長から「組合の活性化（魅力向上）に向け知恵を貸してほしい」との相談があったのがきっかけで、「組合員のために組合がサポートできる新たな取り組みについて、専門家（中小企業診断士）を活用しながら、中央会と一緒に検討しませんか?」との提案をさせていただいたところ、田坂理事長より「たくさん知恵を出し合い、我々の進む道を切り開いていこう」と意気込みで本事業がスタートしました。

#### 一若手メンバーを中心に検討会を開催

検討メンバーはこれから組合を背負って立つ後継者（若手メンバー）7名+田坂理事長で構成され、検討内容はSWOT分析による時計小売店の現状分析から始まり、個店の魅力や顧客満足度を高める手法を学び、各店舗が成長のために取り組むことや克服すべき課題の洗い出しを行った後、本事業のテーマである新サービス構築に向けた検討をグループワーク中心に行いました。

一課題が明確となり、具体的な行動計画策定ができた  
全5回の検討会議に取り組みだ成果としては、①各店舗

が成長するために取り組むことや克服すべき課題が明確となり、②個店の付加価値を高めるために組合が支援できる4つの新サービス（候補）及び既存共同購買の見直しを検討し、③具体的な行動計画（実施要領、手順、主担当）を策定することができました。

今年度は候補に挙がった新サービス（共同購買の再構築を含む）の中から、組合員にとって最も魅力的な事業を決定し、実行に移す計画となっています。

これからも担当指導員としては、本事業で取り組んだ成果が実りある展開に繋がるよう組合と連絡を取りながら、新たな取り組みがスタートできるためのサポート（各種助成金の紹介、先進事例の情報提供など）を引き続き行っていきます。（担当：事業推進課 小林寛司）

#### 候補に挙がった4つの新規事業

- ①「眼精疲労セラピーによる顧客イケアサポート」
- ②「印章彫刻技能講習会の開催」
- ③「スマートフォン修理サービス」
- ④「お客様に選べるホームページデザインの原則を学ぶ」（WEBプロモーション手法）



### 「組合将来ビジョンの策定について」岐阜県自動車車体整備協同組合

#### 一共同購買の取扱額が増加し青年部活動も活発化する中で

当組合は、近年、共同購買事業に注力し取扱額が徐々に増加し、また、平成25年度に設立した青年部を中心に人材育成にも力を入れており、組合運営は良い流れができています。一方で、自動車钣金業界はカーディーラーの内製化促進、大手中古自動車販売店が事業拡大の一環として自動車整備、钣金塗装を行うようになり、組合員にとって競合化しています。さらには、仕事量・修理単価の下落による経営悪化、人材確保難、新技術への対応など課題が山積しており、こうした環境にある組合員は厳しい経営を強いられており、組合は、組合員、業界のために何をすべきか、将来を見据えた組織運営を検討すべき時期にきています。

今般、組合より組合員、組合の課題を明らかにし、業界の課題への対処も含めた組合の将来ビジョンの策定に向けた支援要請を受け、専門家を交えて検討する組合等ブランド強化対策事業の活用を提案し、本事業がスタートしました。

#### 一「組合特命長期ビジョン委員会」を立ち上げ

専門家（中小企業診断士）、中央会、組合役員及び青年部で構成する「組合特命長期ビジョン委員会」を立ち上げ組合将来ビジョン策定を進めました。

事業では、組合員を対象に経営課題抽出のためのアン

ケート調査を実施したほか、組合の課題を抽出・把握し、組合員の増強、共同事業の推進と新規事業の構築、事業承継問題への対処など、5年後の組合のあるべき姿（理想）に向けて、組合が取り組むべき事項を明示するビジョンづくりを行いました。

#### 一スローガンは「組合員総活躍!!～みんなで、話し合って、考えて、活動して、もうけて、支えあう～」

策定したビジョンでは5年後の理想の組合について「組合員数300、支部数15支部」とスローガンに「組合員総活躍!!～みんなで、話し合って、考えて、活動して、もうけて、支えあう～」を掲げ、組合運営の見直し、組合員の増強、共同事業の推進・新規事業の構築を行うこととし、その実施にあたり中心的役割を担う7つの委員会の目的、5年後の成果目標について取り決めました。5月26日の通常総会で組合員に対しビジョンを発表し、活動を推進していく予定です。

（担当：企画振興課 大島達也）

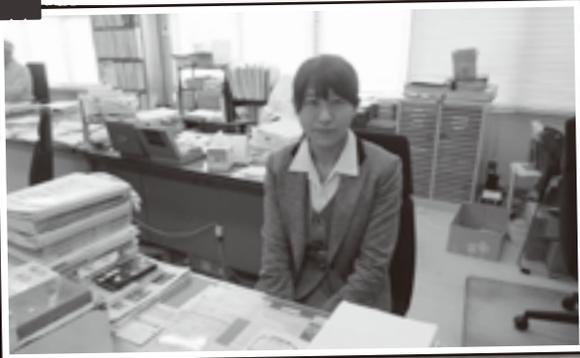




©岐阜県 清流の国  
ぎふ・ミナモ #0682

## 組合事務局 キラキラ職員レター

組合事務局でキラキラと働いている職員の方を、キラキラした川の水面に住む妖精「ミナモ」が紹介するコーナーです。さわやかな川の流れのように、人々が出会い、絆を深めるきっかけとなることを願っています。



長谷川真美さん 協同組合土岐美濃焼卸センター  
(土岐市泉北山町3-1)

以前は名古屋市の自動車ディーラーで事務をしていましたが、地元の土岐市で働きたいとの思いから組合事務局で働き始め、今年で勤続19年目になります。

主な担当は保険に関する業務で、各種保険の提案や契約管理などをしています。保険は次から次へと新しいものが登場するため、研修会の参加等で日々勉強をしています。保険を通して少しでも組合員さんの助けになりたいと思っています。組合員さんからの「ありがとう」や「助かったよ」といった温かい言葉が、働く上で大きなモチベーションになっています。

趣味はドライブで、以前は2ドアのスポーツカーを所有し、色々なところに出かけて楽しんでいました。カラオケや音楽鑑賞も好きです。

組合近くのおすすめスポットは、織部ヒルズにある各組合員さんのお店です。様々な陶磁器が揃っており、きっとお気に入りの品と出会えるはず。組合ではこの織部ヒルズで毎年5月に「土岐美濃焼まつり」を開催しています。ぜひご来場ください。



熊澤優美子さん 岐阜県石灰工業協同組合  
(大垣市昼飯町113-2)

組合員さんの企業に勤務していたことから組合事務局の仕事を紹介していただき、昨年からは働いています。

職員は少人数ですが、専務理事を中心に和やかな雰囲気です。主に電話や来客対応等を中心とした事務全般を行っています。最初は関係機関の名称等を覚えるのに苦労をしましたが、一年経過して慣れてきたところです。その他、事務局を兼ねている金生山石灰石鉱業組合が開催する講習会などのお手伝いをすることもあります。

事務局の場所は金生山の麓・大垣市赤坂で、近くには石灰の巨大な石を見ることが出来る岩巢公園や化石館があります。

趣味はジグソーパズルやロジックアート(画面の縦と横にある数字をヒントにマス塗りつぶして絵を完成させるパズル)で、時間を忘れて熱中することもあります。

昨年度は中央会の「組合事務局スキルアップ講座」に参加しました。組合事務についてはまだまだわからないことも多いのですが、これから少しずつ覚えていければと思っています。これからも組合職員として頑張っていきたいです。

### 組合士の問題に挑戦!

中小企業組合検定は、組合事務局で働く役員が職務を遂行する上で必要な知識に関する試験で、「組合会計」「組合制度」「組合運営」の3科目があります。試験に合格し実務経験を持つ方に、中小企業組合士(通称「組合士」)の称号を与える制度で、毎年12月の第1日曜日に実施しています。(主催:全国中小企業団体中央会 後援:中小企業庁 協力:都道府県中小企業団体中央会)

「中小企業組合検定」の過去問と解答例を掲載します。日ごろの組合運営の参考にしていただくとともに、ぜひ検定にもチャレンジしてください。平成30年度「組合運営」より抜粋

問 次に掲げる文章の□～□に入る適切な文章を選択肢の中から選びなさい。

1. 労災保険(労働者災害補償保険)について、正しいものは ① である。雇用保険について、誤っているものは ② である。

- ① ア. 所定労働時間が一定時間に満たない労働者は、労災保険に加入させなくてよい。
- イ. 個人事業であればどのような事業でも、労働者を労災保険に加入させなくてよい。
- ウ. 労災保険の保険料相当額を、保険料の名目で賃金から差し引いてはならない。

- ② ア. 雇用保険は、所定労働時間が短い労働者でもすべて加入させなければならない。
- イ. 会社の取締役は、部長、支店長、工場長等の従業員としての身分を有する者であれば、雇用保険に加入できる。
- ウ. 個人事業主の同居の親族は、原則として雇用保険に加入できない。

2. 育児休業の期間について、正しいものは ③ である。育児休業の取得について、誤っているものは ④ である。

- ③ ア. 法定の育児休業期間は、原則として子が1歳に達するまでの期間である。
- イ. 子が保育所に入れない場合、法定の育児休業期間は最長で子が1歳6ヶ月に達するまでの期間となる。
- ウ. 子が保育所に入れることとなった場合、子が6ヶ月であっても育児休業を終了しなければならない。

- ④ ア. 育児休業は、父親も取得することができる。
- イ. 母親である労働者が育児休業を取得しなかった場合、育児を行う祖母が育児休業を取得することができる。
- ウ. 育児休業を取得できるのは、子1人につき原則として1回である。

答: ①ウ ②ア ③ア ④イ



# 景況レポート

平成31年  
4月末調査  
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名  
の情報連絡票から

## 〔I〕4月の特色

- ◆景況感DI値マイナス21  
～前月比マイナス1ポイントで横ばい～
- ◆非製造業が牽引し、売上高、販売価格、  
収益状況DI値が改善

## 〔II〕4月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転1、悪化22で、DI値はマイナス21となり、前月のDI値マイナス20に対し、1ポイントの悪化となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、製造業のDI値はマイナス27となり、前月比2ポイントの悪化、非製造業のDI値はマイナス15となり、前月比±0ポイントの横ばいとなった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業において菓子、製麺、金型の3業種(前月比±0業種)であり、悪化したとする業種は、メンズアパレル、陶磁器(工業)、タイル、鋳物の4業種(前月比+1業種)となった。

また、非製造業において改善したとする業種は、長良川畔旅館、下呂温泉旅館、貸植木業の3業種(前月比±0業種)であり、悪化したとする業種は、電設資材卸、大垣市商店街、広告美術の3業種(前月比+1業種)となった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス16で前月比3ポイントの改善、販売価格DI値は±0で前月比7ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス25で前

月比6ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス12で前月比マイナス2ポイントの悪化、雇用人員DI値は±0で前月比2ポイントの改善となった。

コメントを見ると、製造業では、「10連休の間の商品供給を連休前に行ったため、売上が増えた。(菓子)」、「刃物製造メーカー国内向け、輸出向け共に売上・収益共にやや増加状況。一部の製品、特に包丁、ポケットナイフ等の付加価値の高いものが人気。(刃物等金属製品(内需))」などプラスの内容が報告された一方で、「補修改修工事の案件が散見されるものの、注文残高を見ると各社かなり厳しい業況となっている。特にモザイクタイルの見込みが昨年にも増して低調。(タイル)」などマイナスの内容が報告された。

非製造業では、「4月は県と市議会議員選挙により、動きがあり売上の前年を上回った。(生花販売)」、「景況の方は、昨年比で少し改善したと思われる。相変わらず好調なインバウンドの影響が感じられる。(高山市商店街)」、「10連休、改元需要もあり、インバウンドのマイナス分をカバーして微増という結果となった。(長良川畔旅館)」などプラスの内容が報告された一方で、「4月末から連休前の輸送量増加は、4月20日頃からはじまり、車両確保困難な状況になった。原油価格高騰、円安、元売り各社の値上げから、前年より3%~4%ほど軽油価格が上昇。乗務員不足への対応の人件費負担も重なり、経営を圧迫する。(貨物運送(岐阜地区))」など収益状況の悪化を伝える内容が報告された。

## <主な調査項目での動向>

**売上高の動向**は、前年同月比で増加15、減少31でDI値はマイナス16となり、前月のマイナス19に対し、3ポイントの改善となった。

売上高が増加した業種は11業種(前月比±0業種)あり、製造業では菓子、縫製(既製服)、東濃ひのき、機械すきし和紙、電設資材卸、機械・工具販売、中古自動車販売、生花販売、理容・美容業、土木(岐阜地区)、土木(飛騨地区)である。

売上高が減少した業種は22業種(前月比-2業種)あり、特に木材・木製品、商店街、運輸業の区分で多かった。

**販売価格の動向**は、前年同月比で上昇11、低下11でDI値は±0となり、前月のマイナス7に対し、7ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は8業種(前月比+3業種)あり、製造業では牛乳、食肉(国産)、特殊紙、陶磁器(工業)、窯業原料、非製造業では水産物商業、石油製品販売、生花販売である。

販売価格が低下した業種は8業種(前月比-2業種)であった。

**収益状況の動向**は、前年同月比で好転2、悪化27でDI値はマイナス25となり、前月のマイナス31に対し、6ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は2業種(前月比+1業種)あり、非製造業の機械・工具販売、生花販売である。

収益状況が悪化した業種は19業種(前月比-4業種)であり、特に繊維・同製品、木材・木製品、商店街の区分で多かった。

**資金繰りの動向**は、前年同月比で好転0、悪化12でDI値はマイナス12となり、前月のマイナス12に対し、2ポイントの悪化となった。

資金繰りが好転した業種は0業種(前月比-1業種)であった。

資金繰りが悪化した業種は9業種(前月比+1業種)であった。

**雇用人員の動向**は、前年同月比で好転12、悪化12でDI値は±0となり、前月のマイナス2に対し、2ポイントの改善となった。

雇用人員が増加した業種は9業種(前月比+3業種)あり、製造業の菓子、米菓、製麺、縫製(既製服)、機械すきし和紙、刃物等金属製品(内需)、メッキ、可児工業団地、非製造業では機械・工具販売である。

雇用人員が減少した業種は9業種(前月比+2業種)であった。

# 県内中小企業

(4月末調査)

## 主要業種の景気動向

製 造 業		前年同月比					
区 分	業 種	売 上 高	販 売 価 格	収 益 状 況	資 金 繰 り	雇 用 人 員	景 況 感
食 料 品	牛 乳	△	○	△	△	△	△
	食 肉 ( 国 産 )	△	○	▲	▲	△	△
	菓 子	○	△	△	△	○	△
	米 菓	△	△	△	△	○	△
	製 麵	△	△	▲	▲	○	△
織 維 ・ 同 製 品	撚 糸	△	△	△	△	△	△
	ニ ッ ト 工 業	△	△	▲	△	△	△
	毛 織 物	△	△	△	△	△	△
	合 成 織 維 織 物	△	△	△	△	△	△
	メ ン ズ ア パ レ ル	▲	△	▲	△	△	▲
婦 人 ・ 子 供 服	縫 製 ( 既 製 服 )	○	△	▲	△	○	△
木 材 ・ 木 製 品	製 材	△	△	△	△	△	△
	銘 木	▲	▲	▲	△	△	△
	家 具	▲	△	▲	△	△	▲
	東 濃 ひ の き	○	△	△	△	△	△
紙 紙 加 工 品	機 械 す き 和 紙	○	△	△	△	○	△
	特 殊 紙	▲	○	△	△	△	△
	紙 加 工 品	△	△	△	△	△	△
印 刷	印 刷	△	△	▲	△	△	▲
化 学 ゴ ム	プ ラ ス チ ッ ク	▲	△	△	△	△	△
窯 業 ・ 土 石	陶 磁 器 ( 工 業 )	▲	○	△	△	△	▲
	タ イ ル	▲	△	▲	△	△	▲
	窯 業 原 料	△	○	△	△	△	△
	石 灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生 コ ン ク リ ー ト	△	△	△	△	△	△
	砂 利 生 産	△	△	△	△	△	△
鉄 鋼 ・ 金 属	碎 石 生 産	△	△	△	△	△	△
	鑄 物	△	△	△	△	△	▲
	刃 物 等 金 属 製 品 ( 輸 出 )	△	△	△	△	△	△
	刃 物 等 金 属 製 品 ( 内 需 )	△	△	△	△	○	△
一 般 機 械	メ ッ キ	▲	△	△	△	○	△
	県 金 属 工 業 団 地	▲	△	△	△	▲	▲
	可 児 工 業 団 地	△	△	△	△	○	▲
輸 送 用 機 器	金 型	△	△	△	△	△	△
	輸 送 用 機 器	△	△	△	△	△	△

非 製 造 業		前年同月比					
区 分	業 種	売 上 高	販 売 価 格	収 益 状 況	資 金 繰 り	雇 用 人 員	景 況 感
卸 売 業	電 設 資 材 卸	○	△	△	△	△	△
	陶 磁 器 産 地 卸	▲	△	▲	▲	▲	▲
	機 械 ・ 工 具 販 売	○	▲	○	△	○	○
小 売 業	青 果 販 売	△	△	△	△	△	△
	水 産 物 商 業	△	○	△	△	△	△
	家 電 機 器 販 売	△	△	△	△	△	△
	メ ガ ネ 販 売	△	△	△	△	△	△
	中 古 自 動 車 販 売	○	▲	△	△	▲	△
	石 油 製 品 販 売	▲	○	△	△	▲	△
	共 同 店 舗 ( 飛 騨 )	▲	△	▲	△	△	△
	生 花 販 売	○	○	○	△	▲	△
商 店 街	岐 阜 市 商 店 街	▲	△	▲	△	△	▲
	大 垣 市 商 店 街	▲	▲	▲	▲	△	▲
	高 山 市 商 店 街	△	△	△	△	△	△
サ ー ビ ス 業	自 動 車 車 体 整 備	△	△	△	△	△	▲
	長 良 川 畔 旅 館	△	△	△	▲	▲	△
	下 呂 温 泉 旅 館	△	△	△	△	△	△
	高 山 旅 館	△	△	△	△	△	△
	ク リ ー ニ ン グ	▲	△	▲	△	△	△
	広 告 美 術	△	▲	▲	▲	△	▲
	旅 行 業	△	△	△	△	△	△
	理 容 ・ 美 容 業	○	△	△	△	△	△
建 設 業	土 木 ( 岐 阜 地 区 )	○	△	△	△	△	△
	土 木 ( 飛 騨 地 区 )	○	△	△	△	▲	△
	建 築 設 計	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄 構 造 物	△	△	△	△	△	△
	電 気 工 事	▲	△	△	△	▲	△
	管 設 備 工 事	△	△	△	△	△	△
	建 築 板 金	△	△	△	△	△	△
	室 内 装 飾	△	△	△	△	△	△
	木 造 建 築	△	△	△	△	△	△
	運 輸 業	貨 物 運 送 ( 岐 阜 地 区 )	▲	△	▲	△	▲
軽 運 送	▲	△	△	△	△	△	
其 他 の 非 製 造 業	貸 植 木 業	▲	△	△	▲	△	△

凡 例 ○ : [増加]、[上昇]、[好転]  
 ▲ : [減少]、[下降]、[悪化]  
 △ : [不変]

# 職員レポート

中央会職員が日々の仕事や生活を行う中で感じていることなどを綴る「職員レポート」。第27回は中央会事務局の“大型ルーキー”田中主事、に筆を執っていただきました。

今回で本会職員全員がレポートを担当したことになります。次回からは新企画でお届けする予定です!



## これが「私」です

総務課 主事 田中 智

今回、職員レポートのとりを務めさせていただきます田中智と申します。岐阜県中央会職員の中では新米の30歳です。入社して3ヶ月は指導課へ、その後総務課に配属となり中央会のホームページの編集や会計業務などをこなす日々を送っています。2018年1月に中央会に入社して1年と4ヶ月が経とうとしていますが、職務上、なかなか組合の皆さまと接する機会が少ないので、今回は会報誌を介して皆様へ自己紹介をしようと思います。

私自身は生粋の岐阜県民ではなく、九州の長崎県という岐阜県とは900km以上離れた場所で生まれました。親の仕事の都合で長崎県諫早市、佐世保市と転々とし、5歳のときに岐阜県本巣郡穂積町(今の瑞穂市)に移ってきました。長崎5年、岐阜25年と過ごしてきたので、一応九州男児?ではあるのですが、中身はほとんど岐阜県民というわけです。

中央会に入る前は地元金融機関に6年程勤務しており、営業や融資窓口にたち、個人の方への資産のご相談や住宅ローン、中小企業への融資提案を行っていました。その中で、岐阜には多くの素晴らしい企業がたくさんあることを知り、そんな中小企業の方々への支援について他に何かできないか考えるようになり転職することを決意、その後縁あって中央会へ入社することとなりました。

次に私にとって大事にしている“楽しみ”について幾つか話したいと思います。“楽しみ”は“映画”、“ドライブ”、“スノボ”の3つです。

映画については、子供の頃からビデオ、DVDはもちろんテレビ欄に映画が放映されていないか欠かさずチェックし、テレビにかじりつきながら観て育ってきました。よく観るジャンルは比較的アクションものが多いのですが、面白そうと思えば何でも観ることにしています。そんなわたしにとって映画の楽しみ方はやはり映画館のスクリーンで観ることです。映画館の圧倒的な音響、スクリーンと真っ暗な中で椅子に座り、ただ映画を観るという状況が映画の世界観に入り込むことができ、普段味わうことができない感動を得ることができるからです。年間だとだいたい30本くらい映画館へ観に行っていますが、家でもAmazonプライムを利用してまだ観ていない映画を観ています。ちなみに最近観た映画の中でオススメは“グリーン・ブック”です(黒人男性と白人男性の実

話を基にした映画)。是非一度観てみてください。

ドライブについては、運転することが好きなので、日帰りで他県へドライブに行ったりしています。また、映画好きに絡めて言えば、映画の舞台となった町に行くこともしばしば(いわゆる聖地巡礼です)、車内でも映画の主題歌をかけ雰囲気を味わいながら運転しています。

スノボは社会人になってから本格的に始めたものですが、最初は転んでばかりで固い雪でお尻を強打し二度とやらないと心に決めていましたが、気が付けばウェアを揃え、気が付けばボードやブーツを揃え、気が付けばワンシーズン(12月から3月)毎週末行くほどどっぷりはまっていました。岐阜県には鷺ヶ岳、高鷺、めいほうスキー場などボーダーにはたまらない数々のゲレンデがあるので、冬にはそちらの方へよく出没しております。腕前はそこそこです(笑)。

そんな私ですが、中央会の職員として毎日が新しいことの連続で非常に充実した毎日を過ごしております。前職が金融機関ということで、決算関係書類や数字についてはあまり苦手意識を持つことはありませんでしたが、それでも30歳からまた仕事をゼロから始めることには不安もありました。慣れない業務に失敗することもあります、その度に諸先輩方から助けて頂き、その失敗から多くのことを吸収して業務に励んでおります。まだまだ力不足ではございますが吸収したことを組合の皆様へ還元できるよう邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



鷺ヶ岳スキー場にて

事業主の皆様へ

# 出向・移籍を 無料でサポートします

## 人材確保

- 事業の拡大、欠員発生など要員を確保したいとき
- 新規部門に精通した人材を確保したいとき
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したいとき

## 雇用調整

- 事業の整理、縮小に伴い人員削減を検討しているとき
- 従業員を関連会社以外の企業へ出向を検討しているとき
- 工場閉鎖等のため従業員の受け入れ先を探しているとき



経験豊かな  
即戦力人材を  
紹介します



そんなとき、お気軽にご相談ください  
情報の提供、相談、あっせんについての費用はかかりません

お問合せ先



公益財団法人 **産業雇用安定センター 岐阜事務所**

〒500-8163

岐阜市鶴舞町2-6-7 ワークプラザ岐阜3階

TEL 058-246-7060

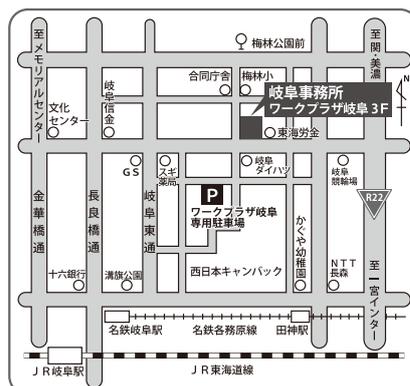
FAX 058-246-7062

ご利用時間 9:00から17:15 (土・日・祝は休業)

★車でお越しの場合は、ワークプラザの専用駐車場をご利用ください

インターネットで最新の人材情報をどうぞ

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>





全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（平成30年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は、過去のものを含め、全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」として公開していますので、ぜひご活用ください。【組合事例検索システム】<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/>

## 岐阜県自動車車体整備協同組合

青年部の斬新な感覚・行動力により組合の活性化に貢献

主な業種	自動車整備業				
住所	岐阜市日置江2648-4 岐阜県自動車整備振興会館2階				
URL	http://www.gjs.jp/		電話	058-270-0820	
設立	昭和31年3月	組合員	96人	出資金	950千円

### ■ 背景・目的

自動車業界を取り巻く事業環境の変化の中で、次代を担う青年経営者や後継者等の重要性が増してきている。特に、組合の中では、親組合をリードしていく人材を育成していくことで、業界全体の活性化を進める必要があり、平成25年5月に青年部を発足した。

### ■ 取り組みの手法と内容

親組合の理事15人中5人が青年部員であり、将来の組合のリーダー候補として、親組合の活動にも積極的に参画しており、青年部の若い意見を組合運営に反映するようにしている。青年部と親組合を全く別の組織として捉えず、共に組合を活性化させる同志として位置付けている。

青年部の事業として、主に青年部員が抱える課題解決のための研修会を開催しているが、会員から生の声を吸い上げ、タイムリーな企画内容を構築するようにしている。その他の特徴ある事業として、県内にある車体整備専攻の学生を対象に、次世代に技術を継承すること及び人材確保を図ることを目的とした自動車の钣金塗装技術を伝授する技術交流会を開催してい

る。このような取組みの成果や、活動内容をアピールすることにより会員数も増加し、また、青年部の様々な活動が親組合の刺激になり、組合の活性化にもつながっている。青年部員の意識は非常に高く、全員で青年部を盛り上げようという思いが強いため、全員が真剣に議論し、青年部活動に積極的に参加している。

事業の取組みにあたっては、①現場の会員の声を聞くため、毎年アンケートを実施。②その声に合わせた事業を展開。③活動後には必ず振り返りをして評価やフィードバックを行い次の事業に反映。①から③までのPDCAサイクルを徹底している。これにより、スピード感ある対応と、効率の良い取組みが実現されている。

### ■ 成果とその要因

車体整備業界では、後発の青年部の設立だが、運営の基準を明確にした現場発想の事業立案とPDCAサイクルを導入。タイムリーな企画内容を構築することにより、各事業者の現場でも活用できる知識を習得している。青年部の活動が親組合にも良い刺激を与え、組合が活性化している。

### ① キーファクター

組合理事15人中5人が青年部員であり、将来の組合を背負って立つ人材として組合運営に積極的に携わり、若い斬新な感覚・行動力により組合が活性化している。

## 岐阜県既製服縫製工業組合

繊維産業の将来を担う新たな技術者の育成と技術の承継

主な業種	既製服縫製加工業				
住所	岐阜市藪田南1丁目11番12号 岐阜県水産会館5F				
URL	-		電話	058-273-4030	
設立	昭和49年12月	組合員	61人	出資金	4,238千円

### ■ 背景・目的

繊維業界では、2000年代初頭から外国製品の台頭や低工賃、若者の当業界離れといった諸問題に直面している。一方、当組合では外国人技能実習生共同受入事業に取り組んできたが、様々な問題に直面し、組合としての新たな方向性を探っていた。

### ■ 取り組みの手法と内容

はじめに、岐阜県中央会が実施している「組合等活動支援事業」（組合が抱える課題解決のための事業）を活用し、専門家の意見を参考にして、組合の方向性を検討する取組みから着手した。そこでは「提案型の縫製工場」「資格取得」といった着想を得て、「新たな技術者の育成と技術伝承」という方向性に辿り着くことができた。

その後、岐阜県中央会の「組合等ブランド強化支援事業」（組合の今後の方向性を考えていく事業）を活用し、技術者の育成手法・育成計画の具体化を試みた。外部有識者に参画してもらうことで、広い視野と柔軟な発想を持って施策を検討することができた。

さらに、昨年度より「組合等活動支援事業」を利用した研修会を開催し、有識者を招いて、様々な種類の服を丸縫いできるプロフェッショナルミシンオペレーターを育成するためのプログラムを実施している。成果として、技能士資格（婦人子供服製造技能士検定）へ挑戦し、複数の合格者を輩出することができた。また、副次的な効果として、参加者の増加に伴い、資格試験を21年ぶりに岐阜県内で開催することができた。さらに、一連の取組みが新聞媒体を通じて知られるようになり、新規組合員の加入や研修会の参加者の増加といった効果も出始めている。現在も研修会を継続して実施しており、最新素材をテーマに一貫生産の技術を磨いているところである。

### ■ 成果とその要因

上記研修の参加者が技能士試験へ挑戦し、合格者を輩出することができた。要因としては、研修講師に国内でも著名な技術者を選定したことに加え、参加者も熱意のあるメンバーに絞り込んだことが挙げられ、難関と言われる資格を獲得することができた。また、残念ながら不合格であったメンバーは、次年度以降の合格を目指し、2級の合格者は1級の合格を目指すといったように、資格にチャレンジすることで、好循環が生まれている。

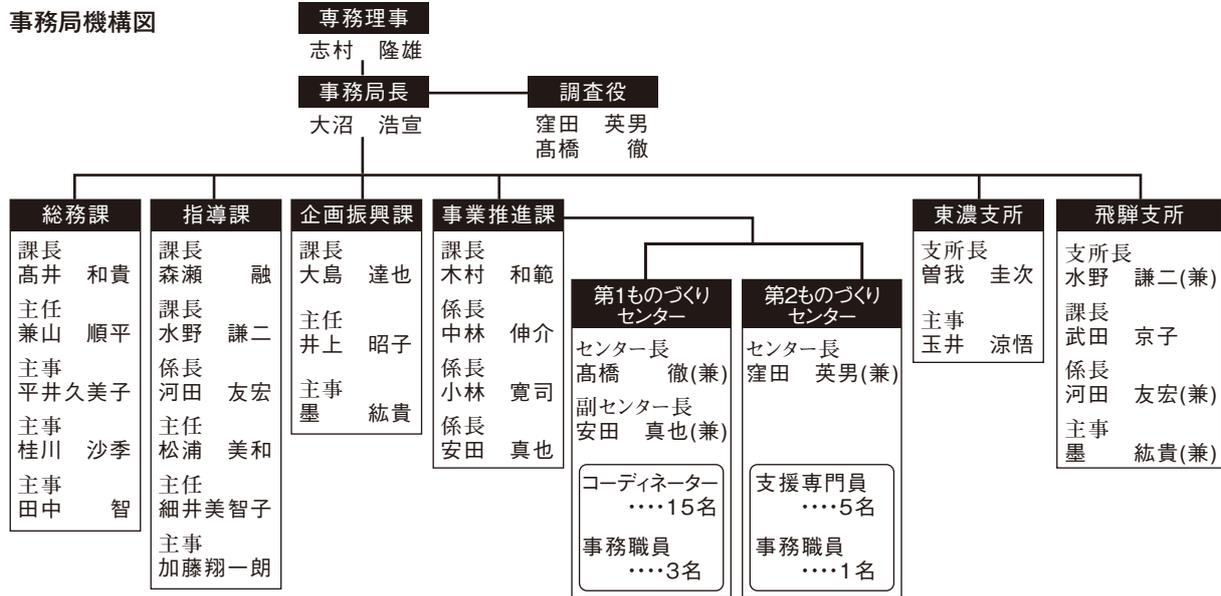
### ① キーファクター

組合の方向性について、専門家の意見を参考にしつつ、組合員が一丸となり突き詰めて考え抜いたことで、その後の実行策の立案へとスムーズに繋げる事ができた。

## 中央会の組織改編のお知らせ

中央会は、下記の通り組織改編を行いましたのでお知らせします。

### 事務局機構図



退職 (3月31日付)

池田眞澄 (参事)

新企画

## ★読者プレゼントコーナー★

今号より「中小企業ぎふ」読者プレゼントを始めます!!

皆様からいただいたご意見を元に、今後も「役立つ」会報誌を目指していきたく思いますので、ふるってご応募いただけますようどうぞよろしくお願い致します。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で6名様に下記商品をプレゼントいたします。  
ご希望の方はアンケートにご回答の上、メール又はFAXにてご応募ください。

**A** 「令和」湯呑セット  
(2個入)

**3名**



多治見陶磁器卸商業協同組合「うつわや多治見」  
寿司湯呑や歴代首相の似顔絵入りなど“物知り湯呑”  
を製造する「山志製陶所」の改元記念品。元号一覧を  
学べるものと万葉集の句をデザインしたものの2種類の  
セットです。

**B** 「令和」どら焼  
(5個入)

**3名**



岐阜県菓子工業協同組合「御菓子所吉野屋」  
フワフワの生地と甘さ控えめな餡、隠し味のバターが  
効いた吉野屋の看板商品「夢どら」の限定品です。

【アンケート】タイトルに「会報誌プレゼント (5/25号)」とご記載ください。

- ①希望商品 (A又はB) ②お名前 ③電話番号 ④所属組合・企業 ⑤今号で面白かった記事  
⑥中央会へのご意見 (会報誌へのご意見や取材のご依頼等もぜひお知らせください)

【応募先】岐阜県中央会 企画振興課

メール kouhou@chuokai-gifu.or.jp / FAX 058-273-3930

【応募締切】2019年6月15日 (土) ※プレゼントの当選は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

# 組合、中小企業の **収益力UP** を 専門家とサポートします!

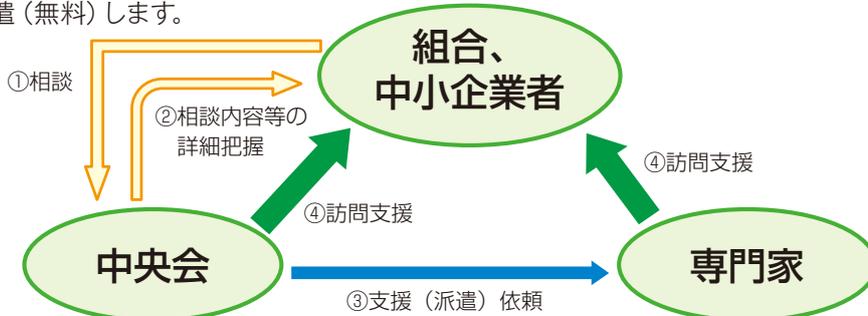
課題などをお聞きして、その解決策をご提案。

## 支援の対象は?

- 組合（事業協同組合、商工組合、協業組合、企業組合など）
- 任意グループ及びその構成員企業
- 組合員である中小企業者
- 県内で起業、創業を検討している方

## 事業実施の流れは?

まずは本会にご相談ください。課題の整理・具体的対応を検討したうえ、ご相談内容に適した専門家（中小企業診断士、社会保険労務士、税理士、弁護士、大学教授、デザイナー、コンサルタントなど）を派遣（無料）します。



- ① まずは、本会にご相談ください（申請・審査等の手続きはありません）。
- ② 本会職員が訪問し、ご相談内容等を詳しくお聞きします。
- ③ 本会がご相談内容に適した専門家を選定いたします。
- ④ 本会職員と専門家が訪問し、ご支援します。

## 事業活用のメリットは?

- 個別に支援を行うことで、具体的な支援が得られます。
- 専門家が有するノウハウや最新情報の入手、人的ネットワークを享受できます。
- 派遣に係る経費（専門家謝金・旅費、会場借料）は本会が負担します。
- 相談内容によっては、複数回の支援が可能です。

昨年度  
(H30年度)  
の支援テーマ

組合等名	テーマ
有限会社三協食品 (飛騨美濃鶏ちゃん協同組合)	HACCP導入による食品の安全・安心の追求
株式会社フクシマ化学 (岐阜県プラスチック工業組合)	BCP策定支援 ～組織及び個人の危機対応能力向上による経営基盤強化を目指して～
岐阜県自動車車体整備協同組合 ※	組合将来ビジョンの策定について
岐阜県時計宝飾眼鏡商業協同組合 ※	地域の時計小売店の特徴を活かした新サービスの構築
下石陶磁器工業協同組合	共同販売事業の活性化に向けた施設運営の見直し
美濃小売商業開発協同組合	高度化資金完済後の組合運営
協同組合関給食センター	給食組合のBCP策定

※10Pに取り組みの詳細を紹介しています

（お問合せ） **岐阜県中小企業団体中央会 指導課** TEL:058(277)1103